

start!

はじめに



今、人々の生活環境は大きく変化しています。そしてまた、私たちは、未経験の課題に向き合わなければなりません。

こうした中で、未来のまちに向けては、市民、事業者、行政が「まちの課題を解決する主人公」として、本市の歴史や文化を継承しながら、課題解決に向けて共創し、そして、未来のまちづくりの主役が鎌倉で育つことに喜びや誇りを持つことができるまちを目指すことが必要です。

鎌倉というまちを、一隻の船に例えてみましょう。

船の乗組員が、立場や思想、年代・性別が異なろうとも、自分らしく、かつ自発的に、同じ方向に向かって、それぞれの役割を果たすこと。

それが刻々と変わる状況下でも船を前に進めます。

総合計画は、乗組員が頼りとする羅針盤です。

今回30年ぶりに基本構想と基本計画を改訂し、新たな羅針盤として、令和8年(2026年)度から令和16年(2034年)度を期間とする「鎌倉ビジョン2034」と、令和8年(2026年)度から令和12年(2030年)度を期間とする「鎌倉ミライ共創プラン2030」を策定しました。

| 令和8年度 2026年度 | 令和9年度 2027年度 | 令和10年度 2028年度 | 令和11年度 2029年度 | 令和12年度 2030年度 | 令和13年度 2031年度 | 令和14年度 2032年度 | 令和15年度 2033年度 | 令和16年度 2034年度 |
|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|

基本構想

鎌倉ビジョン2034(9年)

基本計画

鎌倉ミライ共創プラン2030(5年)

変わり続ける社会という大海のなか
鎌倉の価値を守り、未来へ手渡すために。
羅針盤を手に、乗組員として、船を進めていきましょう。一丸となって。

Be the Crew.

「ミライへの航路を共に進む」

